

方と出生率を上げるための将来構想について

③現在の残土申請状況は。残土条例に基づき周辺住民同意の範囲・距離はどこまで、十分対応できる内容であるのか。また、範囲を広げることができるのか。

A ①11月6日に第1回目の総合計画審議会を開催。今後、専門部会等を通じ、市の課題・現状分析・将来像・政策の大綱等を練り19年8月に原案を諮問し、11月末に住民説明やパブリックコメントを経て、平成20年の3月に議決をいただき、4月より実施をしていく。

②千葉県の出生率は1・18、全国40位となっている。環境づくりを早急に整備する。その一環として幼保一元化、保健センターの有効活用、19年度からは助産師の新生児訪問を全戸訪問としている。

③新市になって11月末現在の許可申請は7件。

指導指針では事業区域からきつちりと300mと定められたわけではなく、一定の

目安と掲げたもの。地域住民が説明会を希望するのであれば、対象区域を拡大することは必要と考える。旧山武町から引き継いでいる申請業者については、住民の理解を求めるとききりと伝え、良い方向にもっていきけるよう努力していきたい。

鈴木 清勝議員

・公共用地の有効活用について

Q 質問の前に、一言お許しいただき、現行の山武市は、成東病院の再建、医療センター問題、本庁方式への移行問題等々難問山積し、市長のご尽力も大変でありましようが、職員も再三の人事異動で腰が据わらない、市民は伝統的な行事イベントは廃止され、街に活気はなくさびれるばかりで、合併してよかったことは一つもないとの声をよく耳にします。いつまでも右往左往せず、きちんとした方向を出すべきではないでしょうか。

①常盤コンクリート(株)跡地へグラウンドゴルフ場を作れないか。

②出光村跡地の活用計画と早期実現について

A ①本庁方式に移行するなかで、この地区は山武の森構想があり文化活動の拠点で、市民の健康増進基地として整備し、各種イベント等の多目的なフリースペースの交流施設を検討し、まちづくり交付金の補助を見込んでいるところで、グラウンドゴルフ場建設については検討段階である。

②あの土地は山武町が平成14年から4年がかりで35ヘクタールを購入したものである。草刈り等の管理費も要しているが、広大な面積なので長期的観点から慎重に検討していきたいと考えているので、ご理解を賜りたいと思います。

高橋 忠議員

・作田川改修工事の進捗状況と問題点について

・日向の森土地利用計画について

Q ①床上浸水対策特別緊急事業の日向橋上流から殿内橋までについて、土地や家屋の補償、住民との交渉等で工事に支障となっていない問題、懸念される案件があるか。また、作田川右岸の道路整備工事について、歩道等の整備計画をお聞かせください。

②面積約36万㎡の日向の森を未利用地としておくのはもったいなく、民間のノウハウや活力・資金を利用して土地の有効利用を図り、税の増収や雇用の増加、地域の活性化に役立てることが必要と考えるが、開発計画についての考え方や方針等、市長の考えをお聞かせください。

A ①地権者については67%の方に協力を得ています。問題点は、所有者の取得時と公共事業で購入しようとする土地価格差、抵当権等の設定、代替地、借地権の問題等です。関係機関と調整を図り、用地購入に当たります。また、作田川右岸に県が3m、市が4mを拡

幅し、7mの道路とするもので、通学路としての歩道の整備は、外側線を引きながら川側に予定しています。②この地域、そして山武市の立地条件等を十分勘案し、経済的な面、自然環境面等での有効な利用の仕方をつかりと見定め、もったいなくかつたと言われないような有効な土地利用を図るために努力します。

柳澤 孝平議員

・地域医療問題について

Q 国・地方を問わぬ危機的財政のなか、当山武の緊急の懸案は医療問題です。最も守らねばならない命と健康が風前の灯になる成東病院の縮小等とても許されなく、その点からも以下うかがいます。

①基本計画策定委員会座長辞意時の『とんでもない計画』の主意は。

②行政組合のセンター事業予算対応は。

③杜撰な財政シミュレーションの実態とその影響は。

④県保健医療計画の配分病